

令和4年2月16日

松本市議会

議長 芝 山 稔 様

松本市議会建設環境委員会

委員長 若 林 真 一

建設環境委員会行政視察報告書

建設環境委員会行政視察を実施しましたので、その概要について報告します。

記

1 期日及び場所

令和4年1月27日（木） 午前10時から午前11時32分まで
松本市役所議員協議会室、議員自宅（オンラインによる視察）

2 参加者

(1) 松本市

松本市議会建設環境委員6人、議会事務局職員1人、森林環境課職員3人

(2) 朝日村

朝日村議会議長、副議長、議会事務局長、教育次長、総務課防災管財係職員

3 視察先及び視察項目

(1) 視察先

長野県東筑摩郡朝日村

(2) 視察項目

公共施設（朝日村役場・あさひ保育園）への地域産材の活用について

ア 公共施設へ地域産材を活用するに至った経緯（理由）及び建設までの経過

イ 市民、議会、関係者等との調整

ウ 木造建築であることや、地域産材を活用するにあたっての課題

エ 事業費及び財政当局との調整

オ 公共施設へ木材を活用したことのメリット・デメリット

カ 公共施設へ木材を活用しようと考えている団体へのアドバイス

キ その他、参考となること

4 視察概要及び所感

(1) 視察概要

ア 公共施設へ地域産材を活用するに至った経緯、建設までの経過や調整

朝日村は面積の約87%が山林であり、庁舎や保育園を新築するにあたっては、村産木材を活用した木造建築という強い想いがあった。当時の中村元村長のリーダーシップの下、平成23年に新庁舎建設の検討が開始され、平成30年に完成した。基本構想、基本計画、基本設計の各ポイントで、案を全戸配布して住民意見を集約するなど、村民に親しまれ、村の誇りとなる庁舎となるよう計画された。

イ 地域産材を活用するにあたっての課題、事業費と財源について

計画的な木材調達が必要となる。伐期を迎えたカラマツのうち、搬出が可能かどうか、建築材として使用可能かどうか、製材をどうするかなども調査し伐採した。

地域産材を活用するということで、事業費が膨らむことも課題の一つ。庁舎の総事業費は15億4,217万円で、当初予定した額の1.5倍となったが、国の補助金などを活用した。また、木材建築としたからこそ得られた補助金もあった。

基本理念の一つ、「村民に親しまれる、シンボルとしての庁舎」にもあるように、村民に寄付木を募り、個人・団体からの寄贈木を象徴木のほか、内外装材として活用したことも、事業費を少しでも抑える一助となった。

ウ 公共施設への木材活用のメリット・デメリット等

事業費が増加したり、木壁外装を数年に1度塗り替える必要があるなどのメンテナンスの手間はあるが、デメリット以上にメリットが大きい。地域産材を使用したことによる地域の活性化のほか、木造建築による視覚的效果、木のぬくもり、やすらぎ、香りが感じられるなど、木の良さが体感できる。また、地域産材を使ったことで、村民が誇りと親しみを感じられる庁舎となった。

保育園では、園舎への地域産材の活用のほか、ロッカーやげた箱などにも活用し、園児は、地元の木で造られた園舎で木のぬくもりを感じながら木の良さを肌で感じながら育っていき、森林・環境への親しみが自然と育まれ、教育にもつながっている。

エ その他

庁舎は、木材利用のほか、再生可能エネルギーである地中熱利用による空調設備や太陽光発電の導入、電気自動車充電スポットの設置など、地球温暖化対策に寄与する施設となっている。保育園にも地中熱設備や太陽光発電設備が導入されている。

緑の分権改革事業を活用し、森林における循環型社会の形成を目指し、村産材を活用して保育園の建設、コテージの建設、役場や学校などの備品の製作などを行った。しかし、庁舎や園舎の建設が終了した今、今後の森林における循環型社会の形成のための取組みには課題がある。伐期を迎えたカラマツがまだ豊富にあること、

それらの有効活用策、山林所有者が次の世代へ引き継げる山づくりの方策など、本市と同じく循環のシステムが課題となっている。

(2) 所感

公共施設に木材を活用することは、市民意識が高まり森林再生の気運を高められそうである。それこそ新庁舎に活用する事で市民理解が進むのではないか。それには分散化ではなく象徴となるように木材で目印的なものの作成をしてはどうか。議会として木材活用を市に提案していく事が重要である。

次世代につなぐという意味では、子供のうちから木材とふれあい授業等で工作させるのは有効である。子供の頃から木材を身近に感じる事でカーボンニュートラルへの理解が進む。

カーボンニュートラルの意義を考えると松本市だけではなく広域連携が必要。超広域連携で行うカーボンニュートラルなので、松本平で取り組まないと結果へつながらない。

木材活用は予算確保が必要になるので、強いリーダーシップが必要になる。しかし、長期的な計画が必要で、国の支援も活用しないと進まない。

5 各委員の報告書

別添のとおり

6 資 料

別添のとおり